

A - 21 遮音性

1. 性能項目の定義

遮音性とは、上階での話し声やテレビ、ステレオの音などが下階に伝わる空気音や、上階での人間の歩行、子供のとび跳ね、食器、玩具など物品の落下、椅子、掃除機の引きずりなどにより発生する床振動が下階に固体音として伝わるいわゆる“床衝撃音”が、どの程度遮断されるかを表すものである。

2. 評価の観点

評価の観点は、居住性とする。具体的には、空気音の場合上階から下階への音の伝わりやすさ、床衝撃音の場合下階で聞こえる音の大きさの観点から、遮音性を評価する。

3. 適用範囲

床の用途：特に限定しない

床の材料、構法：特に限定しない

4. 性能評価方法

遮音性の評価方法は、JIS A 1417～1419に規定されている。具体的には、空気音の遮断性能の測定方法がJIS A 1417に、測定結果を照合して遮断性能を表す数値あるいは

等級を求める方法がJIS A 1419-1に規定されている。一方、床衝撃音の遮断性能の測定方法はJIS A 1418-1, 2に、測定結果を照合して遮断性能を表す数値あるいは等級を求める方法はJIS A 1419-2に規定されている。

よってここでは、これらのJISを参照することとする。

5. 参考文献

- 1)日本規格協会:JIS A 1417 建築物の空気音遮断性能の測定方法, 2000年1月
- 2)日本規格協会:JIS A 1418-1 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法 ー第1部:標準軽量衝撃源による方法, 2000年1月
- 3)日本規格協会:JIS A 1418-2 建築物の床衝撃音遮断性能の測定方法 ー第2部:標準重量衝撃源による方法, 2000年1月
- 4)日本規格協会:JIS A 1419-1 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 ー第1部:空気音遮断性能, 2000年1月
- 5)日本規格協会:JIS A 1419-2 建築物及び建築部材の遮音性能の評価方法 ー第2部:床衝撃音遮断性能, 2000年1月

6. 適用規格

5. を参照。